

## 一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第4回 定例会)

質問順位	10 3番議員 末次 明	
質問事項1	ふるさと納税の見直しと今後の取組について	
質問の要旨	<p>ふるさと納税（応援寄附金）は、町も平成27年度から返礼品を充実し、平成29年度は10億9千万円以上の寄附があり、基金積立が今年9月補正後で約5億6千万円ある。町では人口が伸び悩み、高齢化が進み税収が伸びない中、貴重な財源として、多くの事業に基金を使っている。</p> <p>今年9月に総務省より制度の見直しが行われ、「返礼品は地場産品」「寄附額の3割未満の返礼品」とするとの通達が行われた。この指導は予想されたことであるが、総務省の見直しに従いながらも規定の範囲以内で成果を出すよう期待する。</p> <p>今後のふるさと納税と企業版ふるさと納税について問う。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 本年9月11日の総務省から返礼品内容、返礼品の調達率について見直しの要請があったが、松田町長の率直な見解は</p> <p>(2) 返礼品調達率を寄附額の3割以下に見直すと大幅な寄附額の減少が予想されるが、全国の自治体との不公平感はなくなる。地場産品の有無やアイデアを出すことで寄附額が決まる。町はどう取り組むのか</p> <p>(3) 今後、この基金をどのように運用して寄附者が共感できるような事業を行っていくのか</p> <p>(4) 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の進捗状況はどうなっているか。今後の活用予定はあるのか</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

## 一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第4回 定例会)

質問順位	10 3番議員 末次 明	
質問事項2	町営住宅の健全経営への取組について	
質問の要旨	<p>日本の公営住宅の目的や役割は時代とともに変化しているが、新たな生活困窮者や公営住宅必要者は生まれている。町の財政に負担にならないためにも、健全な運営と使い勝手の良い町営住宅が求められている。定住促進、子育て世帯の増加は歓迎するが、財政を圧迫する住宅経営は慎重にしていきたいし、空き家の活用や宅地として利用できる土地を増やしてほしい。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 町営住宅の役割は何か	町 長
	(2) 町営住宅の空室は現在何室あるのか。空室があるのは居住条件に合わないため、需要がないのか	町 長
	(3) 本桜団地の各棟の一階にある郵便受けの現状を見てどう思われるか。見直しの予定はないのか	町 長
	(4) 住宅使用料の未納は現時点で何世帯、いくらあるのか。町営住宅使用料などの債権回収は町の最重要課題である。どのような手順を踏んで対応にあたっているか	町 長